第13回五霞町青少年の主張大会

第13回五霞町青少年の主張大会が「いばらき教育の日」である11月1日、五霞中央公民館講堂において盛大に挙行されました。

当日は、町長をはじめ町議会議員、教育委員、各小・中学校のPTA会長、社会教育委員、民生委員など多数の来賓や一般聴聞者が出席する中、各小・中学校から選抜された10名の児童生徒が、日々の体験や将来の希望などを力強く発表しました。

受賞者は次のとおりです。（敬称略）

《受賞者名》

○五霞町青少年問題協議会長賞
五霞東小学校5年　菊地　郁伽（ふみか）

○五霞町議会議長賞
五霞中学校1年　小野寺　彩（あや）

○五霞町教育委員会教育長賞
五霞東小学校6年　篠崎　加奈（かな）

○青少年育成五霞町民会議会長賞
五霞中学校2年　小松　泰千（たいち）

○五霞町青少年相談員協議会長賞
五霞西小学校6年　山中　大輔（だいすけ）

○優秀賞
五霞西小学校5年　小川　和泉（いずみ）
五霞中学校1年　中村　翼（つばさ）
五霞中学校2年　尾白　知佳（ちか）
五霞中学校3年　知久　瑞希（みずき）
五霞中学校3年　小川　晴輝（はるき）

大切な水

五霞東小学校　5年　菊地　郁伽

発表する菊地さん

「あれ、お母さん。水でないよ。」朝、歯をみがこうとじゃ口をひねりながら、私はさけびました。

「本当だ、どうしたのかな？。」とお母さんは下に下りていきました。原いんは、下のトイレのパイプが割れてしまい、水がふき出してしまったので、おじいちゃんが元せんをしめたからでした。しょうがないので麦茶でうがいをして、ウエットティッシュで顔をふいて学校に登校しました。私は、その時初めて、水が出ないということは、なんて不便なことなのだろうと思いました。水が出るまでの間、お茶わんも洗えないし、洗たくもできないし、トイレにも行けなくてとても大変だったとお母さんもおばあちゃんも言っていました。

今の日本は、じゃ口をひねれば、すき通ったきれいな水がたくさん出てきます。それなのに、コンビニやスーパーには、いろいろなミネラルウォーターが売っています。私は「ミネラルウォーターを買うなんてもったいないな。」と思っていました。でも、お店に売っているミネラルウォーターがどれくらいおいしいのか飲んでみたい気持ちもありました。そんな時、妹の「科学大好きスタンプラリー」で、霞ヶ浦かん境科学センターに行きました。そこに、利き水のコーナーがありました。ふ通の水道水、こう水のミネラルウォーター、なん水のミネラルウォーター、霞ヶ浦のじょうかした水をどれがどれだか当てるものです。家族4人で「これが、水道水、こっちがなん水…。」なんて味くらべしてみましたが、四人とも全然味のちがいがわかりませんでした。四人で大笑いしてしまいましたが、私たちはいつもおいしい水を飲んでいるということだと思いました。

私達の日本は、とても、水にめぐまれた国だと思います。そして、世界の水事情のことをインターネットで調べてみました。

「世界がもし、百人の村だったら」という番組で男の子が、おいしそうにどろ水を飲んでいたのを思い出したからです。

①何キロも歩いて水をくみに行かなくてはならなくて、学校に行けない子どもがいること。

②安全な水が手に入らなくて困っている人が四人に一人もいること。

③病原きんの入った水を飲んで、一日に二万五千人もの人達が亡くなっているということ。

④かぎられた水資げんをめぐってのたくさんの争いが起きているということ。

などが分かりました。私は、水に困っていることにびっくりしてしまいました。

地球は、水が豊富で幸せな星だと思っていましたが、それはちがっていました。地球のほとんどが海水で、たん水はとってもき重な物だと知りました。そして私が、ショックだったのは、日本は水にめぐまれた国だと言いましたが、それはちがうということです。日本は、雨はたくさんふるけれど山が多く、川が短いので、すぐに海へ流れてしまうそうです。それでも、私たちが自由に水を使えるのは、ダムや貯水池を造り、水を流す量を調節してくれているからです。水に困っている人達の心を何も考えずに水を自由に使っていたけれども、日本も、水がかれて水の使用がせいげんされるときがあると知り、私はおどろきました。それならわたしは、何をすればいいのか考えてみました。すぐに思いついたのは、お皿洗いのお手伝いの時に、水を出しっぱなしにしない。歯みがきの時は、コップを使う。お風ろでシャワーを流しっぱなしにしないなどです。ちょっとしたことで何リットルも水が節約できます。そして大切な水を無だにしないで少しでも節約すれば、その水が困っている人たちのために使われるのではないかと思います。

私達が住む五霞町は周りを川で囲まれた水と緑のゆたかな町です。その利根川や江戸川を流れている水は、海からじょう発した水じょう気が雲になり山に雨がふった水です。地球の自然が私達にくれた大きな宝物だと思えます。地球上の水の量は増える事はないそうです。水もかぎりある資源なのだと思いました。日本は野菜やこく物をたくさん輸入していますが、水が稲や野菜を育ててくれるので、水を輸入していると同じことです。きれいな水をあたり前にたくさん使える事はとても幸せだと思いますがいつまでも使えるように少しの水でも大切にしていこうと思います。一人では小さな事かもしれませんが、みんなでやれば大きな力になるのではないでしょうか。いつか世界の人達が困らずに水を使える様になる事を信じて私は水を大切に使いたいと思います。

※掲載にあたっては、原文のまま掲載させていただきました。